



とうふう 東風

矢巾町立矢巾東小学校
校報 19号
H27.12.4
文責 校長 菅原

ちゃんと泣ける子に 育てよう

友だちとトラブルを起こす。
すぐキレる。暴力をふるう。攻撃的。
叱られると暴言を吐く。
感情を表に出さない。
家ではおとなしいが学校で暴れる。
思いを言葉にできない。ネットトラブル。
いじめ。ゲーム・カードにのめり込む…。

例



今、話題になっている本があります。
大河原美以（みい）さんという方が書いた
表題の本です。

月曜日に花巻の教育センターの研修講座
を受講してきました。講師はその大河原さん
でした。講義は次のような内容でした。

- 今、子どもたちはネガティブな気持ちを
コントロールできず、心は危機的状況にあ
るということ。
- 自分の本当の感情と行動とが離れた状
態にある子どもが増えているとのこと。

👉 これらは脳の発達に問題があること。

子供にとって本当は、「転ん
で痛い・泣きたい」のに、大人
から「痛くない」（強くていい、いい子
に育てたい…大人の思い・願い等）という、
言葉のすりこみが行われると、
子供の気持ちと大人の言葉の矛
盾が生じ、子供の感情制御（コ
ントロール）の獲得が阻害され

矛盾が積み重なっていくと なにかのきっかけで

これを**加速**させるのが【ネット・ゲーム】

あんなにいい子だったのに…。
突然反抗。キレる。不登校・引き
こもり（ニート）。いじめ。ネット・
ゲーム依存。

感情制御

怒りや不安、悲しみ、欲望は誰にでもある。

それをコントロールするには、怒りや不安、悲しみと
いった感情を安心して出すことができる、受け止めて、
感情を言葉にしてくれる体験環境が必要。それにより感
情をコントロールできる**脳のネットワーク**がしっか
りできて、感情を制御（感情を安心で包みこむ）するこ
とができるようになる。この体験を積み重ねることで、困難な
事態を乗り越える心、社会に適応していく力が育つ。

「自律」の力を獲得するプロセス（しつけ）

大人：①守るべき**枠組（約束・ルール）**を示す。（発達年齢に即した妥当なもの）

例 スーパーに行っても一個しか買わない（枠組み）。

授業中は勝手に立ち歩かない。

子供：②「枠組み」にぶつかって**不快感情を表出**する。

例 買って、買ってと泣き叫ぶ、だだをこねる。

つい立ち上がる。

大人：③**不快感情は承認（言語化）**するが、**枠組（約束・ルール）**は**変えない**。

言語化… 欲しかったんだね 痛かったんだね 悲しかったんだね 悔しかったんだね

子供：④きちんと**葛藤**する。

子供：⑤自己の**欲求の制御**⇒**自律（感情制御のネットワーク促進）**

現実原則

不快感情

安心・安全

待つてやる

泣いたり、ぐずったりしているこ
とをそのままにしておける余裕

結論 感情を出すことを止めず、認め（言語化）待つ。しかし、「ならぬものはならぬ」という態度を示すこと。

これには、親・教師の対応の訓練（覚悟）と場に応じた工夫が必要です。もっと詳しく知りたい方は、大河原美以 著 「ちゃんと泣ける子に育てよう」 親には子供の感情を育てる義務がある。河出書房新社をご覧ください。

※これらの内容は大河原先生の許諾を得て掲載しています。

学び合おう
礼節を重んじ
姿勢よく

平成27年度 矢巾東地区教振運動集約集会 矢巾東地区公民館振興大会(下北地区)

11月28日(土)、午後より、標記大会が矢巾東小学校アリーナで行われました。



落ちつき無いので...

前半は開会行事 と講演。

矢巾町教育委員会の越秀敏教育長様からご祝辞を、教育研究所所長補佐の小野寺仁先生からご講演をいた

だきました。

前校長先生である小野寺先生からは、自らの教職経験をもとに、「子どものより良き変容を目指して～ある・いる、する・できる、もっている～」と題した具体的なお話をいただきました。子どもへの対応では、「オコル」を心掛けると大抵は対処できるとのこと。

体…バイオの「オ」⇒ どこか痛いのか？

心…サイコの「コ」⇒ 悲しいのか？

人間関係…ソーシャルの「ル」⇒ 悔しいのか？

とても示唆に富む、ユーモア(おやじギャグ?)を交えながらのご講演でした。



自慢のイルミネーション

後半は下北地区の公民館活動と下北地区 子ども会の活動報告。

公民館活動の大きな特徴は、イルミネーション。これは、冬場の風物詩として町内外で有名になっています。

子ども会活動では6年生7人が中心となり発表。手作りマップ(校長の家まで入っていました)による地域紹介。そして年間の活動の様子と総勢25名によるさんさ踊りを披露しました。



下北伝統さんさ踊り

このさんさ踊りは川村公民館長ご夫妻が長年子供たち一人一人に手取り足取り教え伝承してきたものです。6演目を見事演じきりました。

大会後、下北公民館で慰労会が開かれ、その場で6年生から川村館長さんにお礼のお

手紙が贈られる場面に遭遇。子供達・保護者・地域が一体となった温かい余韻に浸ることができました。下北地区の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、有難うございました。

なお、各地区の実践集約報告もいただき大変ありがとうございました。

収穫祭



はじめはぐにぐに

今年も、5年生の稲作体験学習のまとめとして、食改協の昆っな子さんを中心とした地域の方々のご協力により行われた収穫祭。

PTA 行事と連携し、アリーナで餅つきです。

今はもうあまり見られなくなった、杵つき餅。もちろん臼も珍しいものとなりました。

昆さんが町の関係団体に働きかけてくださり、臼と杵を3組ご準備いただきました。

この地域では、1年の農作業が一段落する頃、お手伝いいただいた地域の方々を招いて「庭払い」という宴会を行ったとのこと。



しあげてべったん!



おつゆもち

きな粉もち

その中で、必ず出されたのが「おつゆ餅」。お正月のお雑煮のようにシンプルなものでなく、野菜などがたっぷり入った

具沢山なものです。お餅にダシがしみこんでとっても美味しい「おつゆ餅」と「きな粉餅」をお家の人と一緒に堪能しました。

春からご協力いただきました田圃の中村さん初め、昆さん、農協の方々にも心から感謝申し上げます。



杵つきもち

びろーんとのびます